

座長集約

演題群Ⅳ CT ②

小川赤十字病院

田中 達也

本セッションは本大会最後を飾るに相応しい5演題が報告された。夕方にもかかわらず多くの会員が会場を埋めており、報告のレベルの高さ及び会員の意識の高さが感じられた。

演題番号 19「冠動脈 CT におけるラジオロール塩酸塩静注による心拍減少効果の検討」では 75bpm 未満の洞調律において本剤は特に有用であり、心房細動症例においても心拍数減少効果がみられ拡張中期再構成が期待できるとの報告であった。体重あたりの規定投与量を増加させた場合や、心房細動症例への使用など、一般的に得ることが困難である貴重なデータが提示された。今後は他剤併用投与など高心拍症例に対する更なる研究を期待したい。

演題番号 20「80 列 CT 装置における心電図同期 CT-AEC 機能の基礎的検討」は AIDR3D を Prospective に使用した場合 AEC 機能通りの画像 SD の改善が認められたが、Retrospective に使用した場合は条件によっては低コントラスト検出能の低下が懸念される。また、心電図同期 CT-AEC は Non-Gate 時と同様の画像 SD を得ることができ、心臓や大血管領域での被ばく低減が可能であることが示唆されるという報告であった。

演題番号 21「64 列 CT 装置における CT-AEC の基礎的検討」は被写体の形状によっては画像 SD が不安定になるものの Intelli IP を用いても画像 SD 変化の傾向は従来のままで、被ばく低減への効果が期待されるとの報告であった。上記 2 演

題は、演者が他施設に赴き、最新装置の性能をいち早く評価したものであり、今後とも更なる評価を行い、装置メーカー側にも改善を迫り及して頂けるものと期待する。

演題番号 22「ガントリー中心から離れた場合の頭部撮影」は亀背の高齢者において撮影基準線を確保するためにガントリー中心から離れた位置で撮影する場合の画像評価を行い、装置の特性や臨床での許容範囲を求めた報告であった。今後続くであろう高齢化社会において重要な課題であることから、ヘリカル撮影や撮影条件および画像評価を含め更なる研究を期待したい。

演題番号 23「頭部 CTA における造影剤-生理食塩水同時混合注入における Test Injection 法を用いた撮影時相推定の検討」は造影剤と生理食塩水を同時に混合注入することにより、Actual Scan と同じ注入時間で Test Injection を行い、より高度な撮影時相の推定が可能になったという報告であった。一般的にボーラストラックよりも精度が高いといわれる Test Injection 法においてさらに精度を高めようとする姿勢を緩めることなく今後も迫り及して頂きたい。

3名の演者が、多忙な日々には甘んじることなく、常に疑問・改善を迫り及していく姿に感銘をうけた。また、演者に理解と協力を惜しなかつた各施設のスタッフにも敬意を表し、座長集約とさせていただきます。